製品別比較表(案)

		交	<u> </u>	<u>ניכ</u>	<u> </u>				
					後 発 品		標準品		
会		社		名	大原薬品工業株式会社				
商		品		名	<b>ツロブテロールテープ0.5「オーハラ」</b> (日本薬局方 ツロブテロール経皮吸収型テープ)		<b>ホクナリンテープ0.5mg</b> (日本薬局方 ツロブテロール経皮吸収型テープ)		
薬				価	12.70	円/枚	19.30	円/枚	
薬	剤	料		差	6.60円				
コ	_	ド	N	o.* <sup>)</sup>	2259707S1012 —				
成		分		名::	ツロブテロール				
規				格	1枚中に日局ツロブテロール0.5mgを含有 スチレン・イソプレン・スチレンブロック共重合体、軽質流動パ ポリイソブチレン、ポリブテン、脂環族飽和炭化水素樹脂				
添		加			ラフィン、ポリブテン、ミリスチン酸イソプロピル、その他2成分				
薬	効	分	類	名	経皮吸収型•気管支拡張剤				
効	能	•	効	果	標準品と同じ 標準品と同じ 下記疾患の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難など諸症状の緩解 気管支喘息、急性気管支炎、慢性気管支炎、肺気腫				
用	法	•	用	量	標準品と同じ 通常、成人にはツロ 9才未満には1mg、9	通常、成人にはツロブテロールとして $2 m g$ 、小児にはツロブテロールとして $0.5 \sim 3$ 才未満には $0.5 m g$ 、 $3 \sim 9$ 才未満には $1 m g$ 、 $9$ 才以上には $2 m g$ を $1$ 日 1 回、胸部、背部又は上腕部のいずれかに貼付する。			
							外形	識別表示	
					ツロブテロールテープ0.5「オーハラ」 無色半透明の四隅が丸い四角形の粘着テー		2.5cm <sup>2</sup>	OH-144	
製品(		$\sigma$	州	41	プ剤で、膏体面は白色のライナーで覆われている	16 mm 膏体の質量: 25 mg			
茭	ÞÞ	()	Ί±	:汉	ヾシ。 ホクナリンテープ0.5mg		骨体の負重: 25mg		
					白色の四隅が丸い四角形の粘着テープ剤 で、膏体面は白色のライナーで覆われてい る。				
			評		該当しない。				
公	的;	容出	試	験					
標同	準	品等		の性	放出試験 試験液に水500mLを用い、溶出試験法策転で試験を行う。ただし、試験液の温度に ツロブテロールテープ0.5「オーハラ」は、 放出率が70%以上のときは適合とする。」	第2法により毎分50回 は32℃とする。 規格の「1時間後の に適合。	血 0.4 東中ツロブララロ0.2 0 2 6 10 12 14 24 28 32 投与後時間 「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイ両製剤は生物学的に同等であると判定さ	→ ツロブテロールテーブ0.5「オーハラ」 → ホクナリンテーブ0.5mg 平均値±S.D. n=12  2 6 10 12 14 24 28 32 36 48 (hr) 薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」に基づき、 は生物学的に同等であると判定された。	
	定怕		加速		40℃±2℃、75%RH±5%RH、3ヶ月(性状、確認試験、形状試験、純度試験、含量均一性 試験、粘着力試験、放出試験、定量) 適合			i合 ————————————————————————————————————	
安(	無	定 包	装	性)			_	_	
備				考	加速試験に基づく相対比較試験(40℃、75%RH、3ヵ月)の結果、通常の市場流通下において2年間安定であることが推測された。				
担	当者	í.;	車絡	先					